

<原水協 10.26 国連軍縮週間のつどい 於：全労連会館 20171026>

日本の安全は「核の傘」ではなく憲法9条で

小沢隆一（東京慈恵会医科大学・憲法学）

1. 「北朝鮮の脅威」を口実に「国難突破解散」・総選挙に
 - ・刹那的・「便乗型」対応
 - ・「北朝鮮脅威論→9条改憲」への瀬踏み
2. 「国難」なるものの実相―基軸としての「米朝対立」
 - ・トランプ vs 金正恩の対峙の「新しさ」とは？
 - ・なぜ北朝鮮は挑発に動くのか？
 - ・米国由来の日本の「国難」 「日米核軍事同盟」こそ国難の始源
3. 核兵器と軍事同盟の「抑止力」の「神話」性が露呈しつつある
 - ・軍事的緊張→戦争の危険を高める軍事同盟と核兵器
 - ・「抑止力」論の「神話」性の露呈
4. 核兵器禁止条約の発効・実効化と憲法9条の堅持で拓く東アジアの平和
 - ・日本国憲法と国連憲章の理想 「法と世論（諸国民による民主主義）による平和の実現
 - ・国連憲章の理想の「現実態」としての核兵器禁止条約
 - ・核兵器禁止条約の発効・実効化と日本国憲法の理想の実現によるアジアの平和

参考文献

- ・小沢隆一「憲法9条で拓くアジアの平和」法と民主主義 522号（2017.10）
- ・同「九条加憲で何がどう変わるのか」前衛 954号（2017.11 既刊）
- ・同「岐路に立つ戦後世界と日本国憲法の平和主義」経済 261号（2017.6）
- ・同「日本国憲法施行70年―その平和主義の理念の実現に向けて」平和運動 541号（2017.5）
- ・渡辺治・福祉国家構想研究会編『日米安保と戦争法に代わる選択肢』（大月書店・2016）